

科目名称：	秘書実務 I	
担当者名：	金堂 佳永子、原田 節子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>ビジネス社会において、秘書職に限らず、経営管理者層に対する補佐業務を行うには、ビジネスに関する専門知識、適切な判断力と応対力、優れた情報収集力などの秘書的資質を備えることが必要です。当授業では、初級秘書に必要とされる基本的資質を学びます。また、「秘書検定2級」及び「ビジネス文書検定3級」取得のための特別対策も行い、学修成果に対する目標設定をすることによって、各自の達成度を測り、次への指標にすることができるようにしています。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>授業の達成目標については、理解度・習熟度を学生自身も把握できるように小テストで測定し、定期試験合格によって学修達成とします。加えて、ビジネス教養系の検定試験取得を学修目標の一つとして設定し、「秘書検定2級」及び「ビジネス文書検定3級」の合格を目指します。</p>		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	○
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)	80	10	10		100
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)					0
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 営業事務（金堂 佳永子）	《経験年数1》 2年
	《内容2》 秘書業務（金堂 佳永子）	《経験年数2》 2年
	《内容2》 業務部（兼務秘書）（原田節子）	《経験年数3》 3年
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 秘書とは何か	授業時に配付されるプリントや問題集の指定範囲を宿題とします。復習が必須です。	40分
第2回 秘書の心構え	授業時に配付されるプリントや問題集の指定範囲を宿題とします。「秘書とは何か」について復習し、まとめておいてください。	40分
第3回 補佐役としての心得	授業時に配付されるプリントや問題集の指定範囲を宿題とします。復習が必須です。「秘書の心構え」について復習し、まとめておいてください。	40分
第4回 機密を守る	授業時に配付されるプリントや問題集の指定範囲を宿題とします。復習が必須です。「補佐役としての心得」について復習し、まとめておいてください。	40分
第5回 秘書に求められる人柄	授業時に配付されるプリントや問題集の指定範囲を宿題とします。復習が必須です。「機密を守る」について復習し、まとめておいてください。	40分
第6回 ふさわしい身だしなみ	授業時に配付されるプリントや問題集の指定範囲を宿題とします。復習が必須です。「秘書に求められる人柄」について復習し、まとめておいてください。	40分
第7回 必要とされる資質	授業時に配付されるプリントや問題集の指定範囲を宿題とします。復習が必須です。「ふさわしい身だしなみ」について復習し、まとめておいてください。	40分
第8回 必要とされる能力(判断力・行動力)	授業時に配付されるプリントや問題集の指定範囲を宿題とします。復習が必須です。「必要とされる能力」について復習し、まとめておいてください。	40分
第9回 必要とされる能力(理解力・洞察力)	授業時に配付されるプリントや問題集の指定範囲を宿題とします。復習が必須です。「判断力・行動力」について復習し、まとめておいてください。	40分
第10回 必要とされる能力(人間関係処理力・情報収集力)	授業時に配付されるプリントや問題集の指定範囲を宿題とします。復習が必須です。「理解力・洞察力」について復習し、まとめておいてください。	40分
第11回 文書の表記技能基礎知識①	授業時に配付されるプリントや問題集の指定範囲を宿題とします。復習が必須です。「人間関係処理力・情報収集力」について復習し、まとめておいてください。	40分
第12回 文書の表記技能基礎知識②	授業時に配付されるプリントや問題集の指定範囲を宿題とします。復習が必須です。	40分
第13回 グループワーク①	ワークの内容を復習し、まとめておいてください。	15分
第14回 グループワーク②	ワークの内容を復習し、まとめておいてください。	15分
第15回 総括	これまでの内容を復習し、まとめておいてください。	15分
<p>事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。</p>		
成績評価の方法・基準 <p>定期試験は、80%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。 小テスト10%、授業内の提出物10%で評価する。</p>		
課題に対するフィードバック <p>小テストや提出物は、採点・評価後に返却する。</p>		
教科書・参考書 <p>『秘書検定2級集中講義』(公財)実務技能検定協会編 早稲田教育出版(「秘書実務演習I」と共用) 『秘書検定クリアテスト2級』(公財)実務技能検定協会編 早稲田教育出版(「秘書実務演習I」と共用)</p>		